



人と動物との共存・共生をめざして

Part 2

2019年度後期から6期にわたり実施した「人も動物も満たされて生きる～アニマルウェルフェアをめぐる～」の延長で、「人と動物との共存・共生のあり方」をテーマに学習しています。今期は、獣医師や動物保護団体のメンバー、研究者らが講師となり、それぞれの現場の課題などに学びながら、人と動物とのより良い関係を創る道筋を探っていきます。

日時	4月21日(金)開講 全6回 月1回金曜 18:45~20:45	※教室とオンラインの併用方式
会場	さっぽろ自由学校「遊」(札幌市中央区南1西5 愛生館ビル5F 501A)	
受講料	一般 6,000円 会員 4,800円 25歳以下 2,400円(単発) 一般1,500円 会員・オンライン1,000円 25歳以下 500円)	

第1回
4/21(金)



アニマルウェルフェア (動物福祉)入門

講師 徳光 綾子(とくみつ あやこ)
(一社)アニマルウェルフェア畜産協会 会員

札幌市出身。北海道大学大学院工学研究科博士後期課程修了(工学博士)、理化学研究所特別研究員および慶応大学医学部特任助教等を経て、2019年より(一社)アニマルウェルフェア畜産協会 会員
2019年度後期の最初の回からアニマルウェルフェアの講座に参加し、はや3年半が経過しました。参加するにつれて得られた知識をもとに、「入門編」として皆様にわかりやすくお伝えします。

第2回
5/12(金)



マガンによる 小麦食害と地域共生

講師 牛山克巳(うしやま かつみ)
宮島沼水鳥・湿地センター センター長

1974年、ケニア生まれ。農学博士(東京大)。1997年より宮島沼でマガン研究に着手。2003年に美唄市に採用され、2007年より宮島沼水鳥・湿地センターに勤務。調査研究、普及啓発、保全とワイズユースの推進に取り組んでいる。
ラムサール条約湿地である美唄市の宮島沼に飛来する数万羽のマガンは、地域の農家にとってはやっかいな害鳥です。しかし、工夫をすれば益鳥になるかもしれません。野生動物と農業の軋轢や、農業と生物多様性保全のあり方について考えます。

第3回
6/9(金)



屠畜場のアニマルウェルフェア ～飲用水設備の設置に向けて～

講師 奥野 尚志(おくの ひさし) 獣医師
(一社)アニマルウェルフェア畜産協会 事務局長

1956年、大阪府生まれ。中学校や高校の国語科教師を経て、獣医師となる。北海道内の屠畜場で検査業務に携わってきた。現在は帯広食肉衛生検査所嘱託職員及び帯広調理師専門学校非常勤講師。

屠畜場における家畜への配慮は、AWの観点からも欠かせません。その結果、家畜や関係者のストレスの軽減、品質の向上、食育の発信などをもたらします。講座では、家畜の飲用水設備の設置問題を中心にお話します。

第4回
7/7(金)



タンチョウはなぜ 遊水地に棲み続けるの？

講師 正富宏之(まさとみ ひろゆき)
正富欣之(まさとみ よしゆき)

(一社)タンチョウ研究所 特別顧問、同研究所 所長

(宏) 1932年生まれ。道産子。北大理学部・大学院博士課程修了(理学博士)。釧路市立博物館長、専修大北海道短大教授・学長など歴任。

(欣) 1971年、札幌市生まれ。北大大学院地球環境科学院博士課程修了。2019年に(一社)タンチョウ研究所を設立。

タンチョウは長寿や夫婦円満を象徴するめでたい鳥です。ヒトは彼らの棲み場を壊して絶滅の縁へ追いやりながら、一転、餌を与えて群れを復活させました。この身勝手なヒトに、タンチョウは如何に 대응なのでしょう。

第5回
8/4(金)



北海道立「動物愛護センター」 設立のための保護活動

講師 川添 敏弘(かわぞえ としひろ) 獣医師
酪農学園大学獣医学群獣医保健看護学類 教授

1969年、佐賀県出身。獣医師。酪農学園大学獣医学科卒業後、NOSAI家畜診療所に7年勤務。その後、臨床心理士および公認心理師の資格を得るなかで、幼児教育と障害者支援に携わる。現在の専門は動物看護学とシェルターメディスン。
北海道動物愛護センター設立のために、酪農学園大が協力することになりました。犬猫の譲渡に向けた学生たちの取り組み(ドッグトレーニングやハンドリング)などから動物愛護について考えます。

第6回
9/8(金)



有機農業と アニマルウェルフェア

講師 大山 利男(おおやまとしお)
立教大学経済学部 准教授(農業経済学)

東京大学大学院農学系研究科博士課程修了。(財)農政調査委員会主任研究員、FiBL(スイス)客員研究員などを経て、2010年より現職。著書『有機食品システムの国際的検証』(日本経済評論社)、『有機農業と畜産』(筑波書房)ほか。
欧米の有機農業運動に大きな影響を与えた、ルース・ハリソン著『アニマル・マシーン』(「遊」では読書会を開催中)。同書の出版から現在に至る経緯を振り返りつつ、有機農業と家畜福祉の未来について考察します。

【お申込方法・お問合せ先】

右のQRコードから申込フォームにご記入の上お申込み、もしくは下記メールアドレス宛に「講座名」「お名前」「メールアドレス」「ご住所」をご記入の上、お申込みください。指定口座(郵便振替:02780-5-47036 自由学校「遊」)へ受講料をお支払いいただいた後、講座前日に開催URLを事務局より送信いたします。

NPO法人さっぽろ自由学校「遊」 moshikomi@sapporoyu.org

TEL.011-252-6752 FAX.011-252-6751 〒060-0061 札幌市中央区南1西5 愛生館ビル5F

